# 施肥のあり方を根本的に変える

## ネオグリーンM スターマイシン

## 色よし味よし、見事なサクランボができる

窒素、燐酸、加里は作物の生育上重要な養分。かといって、いくら施用してもよいというものではない。つまり、すべての作物に吸収の限度というものがあり、過剰だと害をおよぼす。たとえば、サクランボなどは窒素肥料をあまり必要としないという。三要素に次いで大切なのはマグネシウム（苦土）、マンガン、ホウ素。マグネシウムは炭水化物、燐酸代謝に関係、マンガンはアミノ酸代謝をたすけ、ホウ素は石炭、水分、炭水化物、窒素の代謝に関与するが、それをうまくとらえて肥料にしたのが「ネオグリーンM」という微量要素混合肥料。土壌に与えると作物の根から吸収され、葉色が濃く、厚みを増し、炭酸同化作用を活発にして養分の造成、蓄積、転流を促進、高品質、増収、食味向上といったすばらしい効果を発揮する。

サクランボ王国山形県の村山市で雨よけハウス栽培をおこなっている三条菊正さん、井沢三夫さん、森茂さんたちが「ネオグリーンM」を使って見事なサクランボをつくっている。

最初に三条菊正さん（村山市大字大久保門前甲二五六―四）を訪ねる。自宅を中心に藤錦、高砂のほうがやや早生種。高砂はやや早生。佐藤錦よりも甘味が劣る。この高砂が鈴なりになっており、果色が鮮やかな赤。そして感心したのは葉が小さく厚く、緑色が濃いこと。というのでこの高砂がハウスのバイオニアとして著名な山形化工㈱（山形市東原町二二―二九）が積極的に普及を進めている。同社の岡崎和雄さんの案内で三人の方々を訪ねて、「ネオグリーンM」「スターマイシン」をどのように使い、どんな成果が認められたかを聞いてみた。

「ネオグリーンM」「スターマイシン」使用の三条菊正さんの「高砂」。着果、肥大、光沢がすばらしい

## なんと高砂の糖度23度

### 葉が小さく色が濃く厚味も

注目されるのは燐酸四五％、加里一％、苦土三％、カルシウム一九％の成分を有する葉面散布剤「スターマイシン」を着色促進、品質向上を目的に使用していること。色のりがきわめてよく、糖度もひつくりするような高さで、一般のものよりもはるかに高い値段で販売しており、「ネオグリーンMとスターマイシンはサクランボを栽培する上で欠かせない」といっている。

この両資材はミネロン㈱（高倉信乃社長―茨城県水戸市河和田二―一八七六―二）の製造・発売によるもので、サクランボ用よりハウスのバイオニアとして著名な山形化工㈱（山形市東原町二二―二九）が積極的に普及を進めている。同社の岡崎和雄さんの案内で三人の方々を訪ねて、「ネオグリーンM」「スターマイシン」をどのように使い、どんな成果が認められたかを聞いてみた。

ガン九％、ホウ素一・〇％の成分。

元肥に全面散布、一袋十㌔入りを十㌃に対して二袋ないし四袋施用した。顆粒状になっているのでパラパラとまくだけでよい。水溶性で肥効が非常に早く現われる。

「ネオグリーンMを使用する前は農協で取扱っている果樹肥料を使っていました。一六・七・八という成分のものだが、これだけどうしても葉が大きくなり、樹勢も強いみたいなんです。ネオグリーンMを使って変わってきた点は葉があまり大きくなくて厚みが出てきたことです。葉がよくなれば実に入ってくる養分も多くなりますからね」

実が黄ばみ始めた時に葉面散布剤の「スターマイシン」を二回かけた。濃度五倍液、溶性で苦土二七・〇％、マンガン九％、ホウ素一・〇％の成分。

元肥に全面散布、一袋十㌔入りを十㌃に対して二袋ないし四袋施用した。顆粒状になっているので、サクランボ用よりハウスのバイオニアとして著名な山形化工㈱（山形市東原町二二―二九）が積極的に普及を進めている。同社の岡崎和雄さんの案内で三人の方々を訪ねて、「ネオグリーンM」「スターマイシン」をどのように使い、どんな成果が認められたかを聞いてみた。

## 養分の転流が理想的に

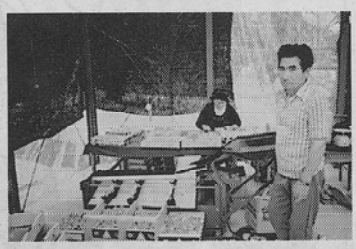
### スターマイシンの効果　着色、収穫五日以上進む

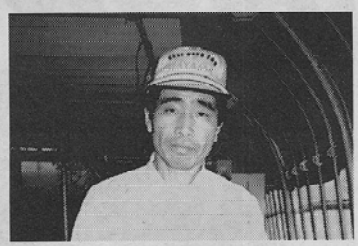
これは「ネオグリーンM」の効果によるものと推測されるが、葉からの養分転流がよくおこなわれるために着果が多いのだろう。そして実が大きく揃っていて光沢が非常によい。このこともとくに注目されたことだ。「うちのは大体L主体です。この高砂の木だと二㌔で五十相近くいくかもしれない。」

「スターマイシンは着色を促進することと品質をよくするはたらきをすると聞きましたが、まさにそのとおりです。かけてから五日ないし六日経ったら効果が現われ、収穫もゆうに五日は前進になりました」

「それで糖度も増したということですね」とただすと、「うん、それは絶対だね」と強くいい切る。普通だったら高砂はせいぜい十八、七度くらいだそうだから、二十三度は明らかに高い。自宅の前のハウスは佐藤錦。これも数粒ごちそうになった。収穫にちょっと間があるというが、かなり甘い。

「佐藤錦はまだまだ糖度が出ますよ」とニッコリ。実のつきもずいぶん多いように感じた。「これだけの量数つけたら、普通は色こないもんね」





上から三条菊正さん、井沢三夫さん、森茂さん

いえば過信し過ぎていたのではないだろうか。そのことがかえってマイナスの面にはたらいていたのかも知れない。

三要素は絶対に欠かせぬとしても苦土、マンガン、ホウ素、そのほかの微量要素をもっと作物がほしがっている。それを与えてくれれば、もっともっと作物は大きい恵みをもたらしてくれるのだということを三条さんの話を聞いて痛切に感じられたのだった。

次に訪ねたのが井沢三夫さん（村山市大字大久保甲八三四―二）。村山農協大久保支所さくらんぼ部会（会員百五十人）の技術担当副部長の要職にある人だ。それとすぐ近くの森茂さん（村山市大字大久保甲八四七）。二条さんの園地は平坦なところにあったが、ふたりとも園地が山沿いの傾斜地にある。三条さんが「うちは平坦地だから山間部の人よりどうしても着色が遅れるんで安はたしかにあったみたいだ」とこぼすのに対し、森さんは「そんなことはまったくない思った。これまでは三要素に依存し過ぎていた、もっと

## 樹勢の衰え回復　霜にも強かった

「ネオグリーンM」を三年前の秋に初めて使った。秋三袋、春二袋から四袋だ。森さんはこう語る。

「二年経ったら様子が変わってきて三年目のことしは効果がはっきりわかりました。ちょっと樹勢が衰えたのがあったんですが、それが回復してきたんです。ことしは晩霜にあったものですから、実のなりがわるいのではないかと心配していたのですが、そのようなこともなく、ネオグリーン使わない人たちに比べたらなり具合がずっといいみたいなんです」

「スターマイシン」は昨年から散布している。色がつき始めたころに五百倍、十日くらい間隔をおいても一回三百倍をかけた。「とにかくすばらしい色がきます」と語る。五日以上、着色が進みます」とのは井上さんだ。しかも実がピカピカ光っている。これは明らかに「スターマイシン」の効果だという。

森さんは花芽の充実を重視している。「前年の花芽がよければ翌年よい花が咲きますからね。ネオグリーMとスターマイシンを使うようになってすごくよい花芽がつくようになりました。それで結果すべてよしなんです」

## 水溶性で肥効早い

### ネオグリーンM

作物が生育する上で窒素、燐酸、加里は水、炭酸ガスとともに大切な養分だが、これに次いで重要なのは苦土（マグネシウム）、マンガン、ホウ素、微量要素など。

作物を丈夫に育て、品質のよいものをたくさんとるには幼苗期から苦土、マンガン、ホウ素を十分に与えて吸収させなくてはいけない。

ネオグリーンMは苦土二七・〇％、マンガン九・〇％、ホウ素一・〇％の成分を有する顆粒状の微量要素混合肥料であり、水溶性である点が特徴。

ネオグリーンMの苦土（マグネシウム）は葉緑素の酵素の構成成分で、燐酸の吸収移動をたすけるほか油脂の合成や炭水化物代謝、燐酸代謝に関係する。マンガンは葉緑素の生成、ビタミンCの造成をたすけ、酸化酵素を刺激して呼吸作用もよくする。また、アミノ酸代謝をたすけるほか、生長点の細胞分裂をさかんにするなどのはたらきをする。

もうひとつのホウ素は細胞分裂をたすけ、石炭・水分・炭水化物、窒素等の代謝に関係するほか浸精を高める。

これを使用した場合の効果としては、作物が生育していく課程のなかで、葉に均一な葉緑素をつくり、厚みをつけ炭酸同化作用による養分の造成、蓄積、転流の大きな担い手となって、増収に結びつける。

基準の施用量は果菜類の元肥として十㌃に対して三十―六十㌔（一袋十㌔入り）を三要素の肥料と一緒に全層へ用いる。追肥に用いる場合は一回の使用量十㌔を限度とし、収穫始め頃より一カ月に三回くらい、総量で三十―六十㌔を施用。

葉菜類は元肥に二十―四十㌔、追肥に二十―四十㌔。果樹だと春肥に三十―四十㌔、追肥には収穫後のお礼肥として同じ三十―四十㌔を使用する。このほか水稲の追肥、茶の春肥、秋肥、葉、葉タバコ等にも使用されている。

## 着色促進、高糖度に

### スターマイシン

スターマイシンは純度の高い燐酸、活性力の強いカルシウム、水溶性加里、苦土をバランスよく配合した葉面散布専用肥料である。成分は燐酸四五％、加里一％、苦土三％、カルシウム一九％だが、燐酸と、カルシウムの肥効により、果実の着色促進、糖度アップ、品質向上等の効果があるほか、活着促進、徒長防止のはたらきもする。

散布濃度は三百倍から五百倍、目的に応じて二―三回散布する。使用時期はミカン、リンゴ、ブドウなどの果樹では着色期十日前、スイカは肥大期初期、メロンはネット出現直前、レタス、ハクサイ、キャベツは結球開始期、サツマイモ、ナガイモ、ダイコン、ニンジンは肥大開始期、水稲は穂肥から実肥へかけてがいずれも適期。

なお、農薬と混合してもよいが、石灰硫黄合剤との混合そのほかアルカリ性農薬との混合はしないこと。水溶性微量要素肥料ネオグリーンMとの併用はいっそう効果的。

一㌔入り二十五袋のダンボール詰め。【問い合わせはミネロン㈱　電話〇二九―五一―四四三一へ】